

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 テーマ

相互の理解と
地域との つながり

2011-2012 年度 RI会長
カルヤン・パネルジー

次回例会予定 8月10日 会員卓話
8月17日 休会(定款第6条第1節)

VOL. 49 No.5(通算No. 2286)

2011年8月3(水)例会プログラム

点 鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

ツウンバ派遣学生挨拶



「ひまわり」

写真提供:石塚克己会員

2011-2012年度

会長 大塚 令昌

幹事 斎藤 広巳

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.49 No.4 (No.2285) 7月27日(水)晴れ (司会 染谷正美委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆研究会報告

誕生祝

≪配偶者≫鈴木(豊)会員

諸報告

鈴木 豊50周年実行委員長

50周年記念の思い …… 1.50年の歴史の重み

2.一通過点ではあるが、次の50年は誰もいない

3.その場に生き証人として立ち会える喜びと感動(一期一会)

4.チャーターメンバー 1人

50周年記念事業への考え方

1. 50周年記念事業企画委員会報告書を踏襲

2. 時勢を考え、華美な演出、必要以上のパフォーマンス、過度な演出はいらない。

3. その意味は、質素ということではない⇒メンバーが英知・知恵を出し合う⇒思い出の残る感動を得る式典(演出)

4. 来賓、来訪者に対して、水海道らしい味のある、さすが水海道なかなか良かったよ！といわれる式典にしたい。

5. 50年の歩みとして、脈々と引き継がれてきた当クラブ継続性の立役者、其の当時の会長・幹事全てを紹介し、労をねぎらいたい！

6. 記念事業として、地域に根差した事業。金一封ということではなく、特定の事業への報奨金(支援金)としての授与

7. クラブの歴史の特筆(ツウンバロータリークラブ)との交流。50周年に招待をして式典に色を添えて頂く。

8. メンバーも楽しく過ごせる式典(心に残るイベント)。大変世話になったファミリー(奥様と家族)も参加し、日ごろの協力への感謝の念を表す会にしたい。

青木清人副実行委員長

7月20日に、総務と渉外の委員会を開きました。50周年記念式典について次の事が決まりました。

開催日:2013年5月26日(日)

場 所:ホテルグランド東雲

幹事報告 斎藤広巳幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 牛久RC 8月8日(月)移動例会、8月15日(月)休会、
8月22日(月)午後7時より

藤代RC 8月4日(木)移動例会、8月15日(月)休会

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

会長挨拶 大塚令昌会長



皆様2011-12年度の新年度に入り、早7月の文月も過ぎようとしております。皆様には各委員会事業計画発表やら地区研究会報告等にてお忙しい月でした。まだまだ続きますが、ご協力お願い申し上げます。8月に入りますと前にも申し上げました通り、会員増強月間に入りますと皆様の一人一人のご協力あってこそ増強が出来ます。会員増強委員長から推薦紙が配付されて居ることと思いますので、一層のご協力の程お願い申し上げます。そして本年度のRI会長賞に挑戦しようではありませんか。ご協力お願い申し上げます。

研究会報告

クラブ奉仕研究会 小島富雄クラブ管理運営委員長



7月10日、水戸三の丸ホテルにて開催されました、第2820地区2011-2012年度クラブ奉仕研究会に出席致しました。当クラブからは、私、青木正弘会員、海老原良夫会員の3名で、約200名参加のもとに行われました。9時30分登録、セレモニーがあり小休憩15分をはさんで昼まで行われ、「テーマ」として“魅力あるロータリアン作り”を目標におき、今年度はとにかく

- ① クラブの5年、10年を考え、中長期の計画を作る
- ② ロータリー情報においては、会員教育を行う

次年度からは、クラブ研修リーダーを任命し、重ねて会員教育を推奨する。そして、各クラブ知恵と工夫、魅力あるクラブ作りに努力する、という事の内容の話で始まり、山崎直前ガバナー、クラブ奉仕担当、クラブ管理運営委員長、広報、雑誌、HP委員長の順で話がありました。中でも、山崎直前ガバナーの大震災、被災クラブ支援金は、宮城県～7県に1億2千万円を支援し、集まった義援金が9億9千万円。まだ8億7千万円が残っているそうです。その後昼食、クラブ組織委員長、続いて総括委員長の講話を聴き、午後2時から3時30分までは、委員会ごとに分科会、ディスカッションとなり、テーマは「増強の実践と工夫、親睦・プログラムの現状、ロータリー情報、研修リーダーの会員教育について」と討議されました。この詳細につきましては、後日クラブ管理運営の7つの委員会が開かれると思いますので、逐次報告させていただきます。今日は、プログラム委員会が開かれますので、出席をさせていただきます。また、年度初めに事業計画を提出致しましたが、クラブ奉仕研究会が提出後に開かれたため、勉強させていただきましたことを盛り込んで伝達し、大塚年度邁進していきたいと思っております。

クラブ奉仕研究会 海老原良夫ロータリー情報委員長



2011年7月10日(日)水戸三の丸ホテルで開催された、第2820地区クラブ奉仕研究会出席報告をおこないます。

只今、小島会員からも報告がありましたので、重複をさけて私は「ロータリー情報に関する報告を致します。

永井靖彦パストガバナーは、「クラブ奉仕の一般概念」というテーマでA4用紙5枚の資料を用意され、15分間の持ち時間内で講演されました。約9000字に及ぶ長文にも拘らず、それは読む者を途中で飽きさせることなく、一気呵成に最後まで読み切らせるほどの名文でした。永井PGはこう言われました。

一人一人のロータリアンが主役となって、ロータリーを理解することがそのロータリアンが所属するロータリークラブを強化・活性化することになります。これが「ロータリー情報」であります。「ロータリー情報」とは、

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

ロータリアン自信が過去・現在及び将来にわたるロータリーの実情を認識することによって、「ロータリーの考え方」をよく理解することです。「ロータリー情報」とは、私たち仲間のロータリアンにロータリーの歴史、目的、考え方を提供することをいうのである。しかし、「ロータリーの友」や「ロータリアン必携」「手続要覧」などの情報の媒体を

ロータリー情報だと誤解しているロータリアンがいます。媒体に書かれている内容についての知識の集積を情報としてロータリアンが理解すること、理解させることがロータリー情報であります。「ロータリー情報」は、ロータリーに関する「知識」ではなく『考え方』の問題であります。

些か長くなりましたが、永井PGはこのようなお話をされました。僅か半日の生半可な聞きかじりのロータリー情報を、ただ棒読みしている私では、地区ガバナーを務められた程のお方のお話の真意を正確に、皆様に伝えることは元より叶いませんが、本年大塚・斎藤年度のロータリー情報委員会を担当させていた卓に当たり、今回の永井PGの文章を座右に置いて活用したいと考え、大事に持ち帰りました。

報告の終わりに、当水海道クラブのロータリー情報委員会のこれまでの有り様について思いを巡らすと、かつて水海道クラブでは、会長経験者がロータリー情報委員会に複数年度在籍し、順送りで委員長役を担当していたようです。このことの意味は、水海道クラブの歴代ロータリー情報委員長が、綿々としてきたこと、すなわち「一人一人のロータリアンが主役になって、ロータリーを理解することが、クラブの強化・活性化することになる」に尽きるのではないのでしょうか。

社会奉仕研究会 松崎隆司委員長



保延社会奉仕総括委員長のもと、午前中「福島第一原子力発電所の現状と放射線について」と題し、稲田栄一様より講演がありました。なぜ放射能が出たか、これからどうなるか、放射線と放射能の違い、放射線の単位の話があり、また今心配されている食の安全についても、基準値を超えた物を飲食しても多量に長期間摂取しなければ、健康には影響はないとの事です。

分科会においては分区毎の発表があり、一つご紹介すると、お隣坂東の岩井RCでは、活動計画として「いわい将門ハーフマラソン大会」にとん汁サービス、公立中学校周辺の「さと山整備」を発表されました。

米山記念奨学会 染谷秀雄委員長



全国で米山奨学生は800名いて、これらの奨学生を支援していくには14億5千万円必要となります。そのうち寄付金収入は13億円で、予算を組むうえで赤字となってしまう、米山奨学積立財産を取り崩して対応しているのが現状である。第2820地区においても、29名の米山奨学生を支援していくためにも、一人当たり普通寄付5,000円、特別寄付20,000円を是非達成してほしいとのことでした。

質疑応答では、支援期間を終えると奨学生と連絡が取れなくなってしまう、その後の状況がわからなくなってしまうのは如何なものかという意見が多数ありました。

また、水戸クラブではラオスに学校を作ったけれども、先生になる人がいないため目的を達成することが出来ない、米山奨学会として現地の人を育成することは出来ないかとの質問もありましたが、現状の規定では不可能ではあるが、将来に向けて検討課題にしてみるとの解答がありました。

最後に、米山奨学会より東北大地震により多大な被害にあわれた方々に対し、励ましのメールや多額の義援金が寄せられたとの報告がありました。

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

出席報告 (登坂 寛委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
56名	48名	8名	0名	8名	100.00%

ニコニコボックス 鈴木勝久委員長

入金計 ¥40,000 累計 ¥312,000

誕生祝御礼《配偶者》鈴木(豊)会員

つくば支店、出店します。9月1日より、営業開始予定です。宜しくお願いします。 斎藤会員

100%出席、2年続けていただきました。 染谷(秀)会員

100%出席で表彰頂きました。 登坂・二本松 各会員

7月が間もなく終わります。 染谷(正)会員

出席出来ました。 山野井会員

永らく休ませていただきました。瀬戸住職のあとがまを、ねらっております。 鈴木(豊)会員

その他 横山会員

例会早退します。 五木田(利)・瀬戸・砂長 各会員

例会欠席しました。 古矢・下村 各会員

会報委員会

青木清人委員長

松崎隆司副委員長

石塚幸一郎委員

ロータリーの特別月間 Special Months in Rotary

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(RI)理事会が指定した月間のことです。

8月 会員増強および拡大月間(Membership and Extension Month)

会員増強には、内部拡大、外部拡大の2つがあります。内部拡大は、クラブの区域内で得られている適格な職業分類の代表者に入会してもらい、クラブの会員数を増やすことです。

外部拡大とは、ロータリークラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。この活動は、地区においてはガバナーと、スポンサークラブの協力で行われ、無地区地域では、国際ロータリー理事会のもとで遂行されます。クラブの拡大は、会員数増加の牽引車(けんいんしゃ)的役割を担っています。

9月 新世代のための月間(New Generations Month)

1996-97年度から、従来の「青少年活動月間」の名称が変わり、「新世代のための月間」となりました。年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

10月 職業奉仕月間(Vocational Service Month)

RI理事会では、一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うよう、奨励しています。

8月は会員増強および拡大月間です

THE WEEKLY REPORT

クラブに推奨される具体的活動には、①地区レベルの行事で、ロータリーボランティアを表彰すること、②ロータリー親睦活動への参加を推進すること、③職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること、④空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動、があります。

11月 ロータリー財団月間(The Rotary Foundation Month)

RI理事会と、管理委員会は、毎年11月はこの月間を遵守すること、月間中、クラブは少なくとも1つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。

月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他(例えばロータリー財団国際親善奨学生など)が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう、示唆されています。財団の奨学金事業、および人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施してください。

12月 家族月間(Family Month)

1995-96年度ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして1995年11月のRI理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2003年7月の同理事会において、2003-04年度ジョナサン・マジアベ会長が、家族の重要性を主眼にしたことを称え、12月を「家族月間」と指定しました。これに伴って「家族週間」は廃止されました。

ロータリージャパンより



夏祭り;ナイアガラ

写真提供:石塚克己会員